

あるせ 生活改善グループ有瀬つくし会(三好市)の取り組み

交流人口の増加を目指し、廃校を民宿に

- 平成24年に、昔ながらの食文化を伝承するため、11人の女性により「有瀬つくし会」を結成し、当時休校していた有瀬小学校を拠点に、地域の祭りや行事ごとに製造した豆腐・そばなどの加工品の人気が高まり、販売を始める。
- 平成25年に有瀬小学校が廃校となり、地域に交流の場が無くなるという危機感から、男性も含めた8名が新たにグループに加入し、「学校民宿」を始めることを決定。
- 平成27年に民宿工事本格着手。費用を抑えるため、壁の塗装等改修工事を会員自らできるものは自ら行い、平成28年3月に宿泊定員25人の「楽校の宿あるせ」が完成。夏場は定員以上に予約があるほど。
- また、平成28年から「山茶カフェ」イベントを実施。地元特産の「天空の山茶」を使った和菓子や自ら作成したピザ釜で焼いたピザ等を提供し、好評を得ている。
- 「学校民宿」をきっかけに、現在2世帯2人が移住している。



徳島県西部特有の斜面に民家が点在
○印のところが「学校民宿」



自ら改修工事を実施。



学校民宿「楽校の宿あるせ」



地元特産の和菓子などが楽しめる「山茶カフェ」